

令和5年度 第8回中郷区地域協議会次第

日 時:令和5年11月27日(月)18時30分～

場 所:中郷コミュニティプラザ ホール

1 開 会

2 報 告

- (1) 新潟大学堀籠ゼミ“さとまる電鉄”の活動(域学連携)について
(学生がオンラインで活動報告。堀籠教授のみ来場…事前配布資料)

3 協 議

- (1) 自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
(互助による輸送の取組に対する市の支援…事前配布資料)
- (2) 視察研修について
- (3) 令和5年度地域協議会活動報告会の実施について
(委員改選に伴い2/7～3/8の間での開催。日程、会場等)

4 その他

5 閉 会

活動報告と来年度以降の活動方針

2023年11月27日

新潟大学 創生学部 堀籠ゼミ5期生（さとまる電鉄）

1 今年度注目した上越市中郷区における課題

- ・様々な団体の方々が中郷区のために活動を行っているが、同じ方向を向いて活動する機会が少ないと感じたこと
- ・人口減少や高齢化といった社会現象の中でイベントによる賑わいの創出が難しいこと
- ・地域の中で、中郷区全体や二本木駅の理想的な姿があまり見えていないこと

2 目標

- ・地域の魅力や課題を再認識する機会の創出
- ・団体間の繋がりを深め、地域活性化に向けた協力体制をつくること
- ・来年度の活動方針について新潟大学と地域全体で考え、資料として提出すること

3 主な活動

- ・訪問（5月・6月） / 非対面ミーティング（7月・8月）
- ・ワークショップ（9月・10月）
- ・中郷区文化祭におけるポスターの展示（11月）

3-1 ワークショップ（別紙参照）

ー第1回（9月7日）

『目的：団体間で相互理解を深めながら、中郷区及び二本木駅の地域戦略を検討すること』

- ・中郷区住民アンケートや事前調査の分析を通して、中郷区には潜在的な魅力が沢山あると知ることができた（自然の豊かさ 二本木駅という文化財 住民や団体の関係性…）
- ・二本木駅に関わっている団体の方々と学生で、地域について考えを共有する機会が設けられた



写真 1.2.3 第1回の活動の様子

－第2回（10月31日）

『目的：クロス SWOT 分析を踏まえて地域戦略を具体化し、それらを可視化すること』

・各グループで具体的な事業案及び戦略（表1）を考え、共有した

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
掛け合わせた要素	弱み「二本木駅利用者の減少」 × 機会「列車を活かせる環境」	強み「国登録有形文化財」 × 機会「DX化」	強み「有形文化財・北國街道」 × 機会「歴史・文化・コスプレブーム」
戦略/事業	貸切電車を用いたイベントの実施	文化を巡るスタンプラリー（謎解きあり）	歴史/仮装ウォーキング×フォトコンテスト
ターゲット	中郷区民全体	鉄道マニア・謎解き好きな若者 家族連れ	子ども+親やお年寄り
メリット	列車に新しい価値を与える 鉄道の魅力を再認識 地域への経済効果	二本木認知のきっかけ リピーター獲得の可能性が 費用が安い	知名度UP 健康増進 他世代間交流
デメリット	経費面 参加人数に限りがある	スタンプラリー単体では 経済的な利益が得られない	交通面等の安全管理 イベントを駅と絡められていない
実現に向けて必要なもの等	費用 日程の調整 広告や宣伝	スタンプラリーツール QRコード設置の許可取り 景品・謎解き	賞品・食べ物 事前告知 スタッフ・審査員

表1 各グループの事業案 / 戦略の概要



写真 4.5.6 第2回の活動の様子

3-2 中郷区文化祭におけるポスターの展示（11月）

・大学生の活動が見える化し、地域住民の方々に知ってもらう機会となった



写真7 実際の展示
(はーとぴあ中郷にて)

4 来年度以降の活動について

ー堀籠ゼミによる活動は令和4年度（4期生）から実施

- ・地域団体の皆さんと大学の関係性構築
 - ・中郷区民やときめき鉄道利用者向けに、二本木駅の価値認知を目的としたポスターを制作
 - ・二本木駅に対する認識や情報の共有が不足していた
- ー毎年堀籠ゼミの3年生がプロジェクト活動を行うため、本活動は6期生以降へ引継ぐ

4-1 テーマ

『イベントを通じて住民の皆さんに二本木駅の魅力を再発見してもらう』

ーなぜこのテーマなのか

- ・二本木駅を中心地として中郷区全体の活性化につなげたい
- ・行政の皆さん+大学生の「交通手段としてではない二本木駅の価値を見つけて、誇りに思えるようになって欲しい」という思い
- ・ワークショップや現地訪問を通じて二本木駅の潜在的な魅力を見つけることができた
- ・新しいモノをつくるのではなく、既存のモノに新しい付加価値をつくり出すことで魅力に気付いてもらえるようなきっかけを生み出したい
- ・学生が地域を巻き込んで行う事業として、イベントは有効的かつ短期間で実施ができる

4-2 ロードマップ

・今年度の活動を軸に、来年度以降の活動は以下の図のような予定で進めていく

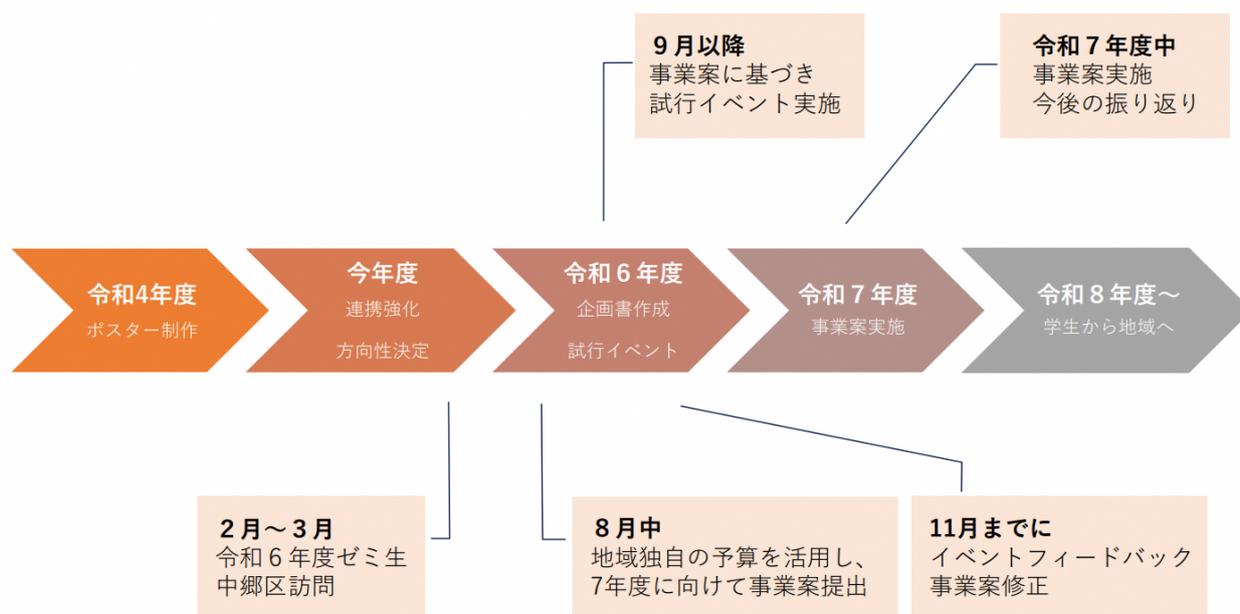


図1 ロードマップ

互助による輸送の取組に対する市の支援について

1 互助による輸送の取組

バス路線が廃止される地域や、路線そのものがない地域においては、定期的な移動手段を確保する手法として、住民が主体となった互助による輸送が有効と考えられます。

この場合、住民団体が運転手や車両を用意し、運行内容を決めた上で、事業者への委託又は自ら車両を運行することにより、対応することとなります。住民団体は、それぞれの運行形態に応じて、法令等に基づく必要な手続を経て実施します。

2 市の支援

(1) 名称

上越市住民主導型コミュニティ交通事業負担金

(2) 概要

項目	概要
対象地域	①バス・市営バスの路線が廃止される予定又は、廃止された地域（バス路線廃止地域） ②バス・市営バスの運行が不十分であると市長が認める地域（バス運行不十分地域）
対象団体	・バス路線廃止地域又はバス運行不十分地域を含むおおむね小学校区又は地域自治区の範囲で活動する住民団体等
運行形態	①一般乗合旅客自動車運送事業者（バス事業者）への委託 ②交通空白地有償運送（自家用有償旅客運送） ※国（新潟県においては県）の登録を受け、自家用車を用いて行う有償の運送サービス。 ③ボランティア輸送（道路運送法の許可等を要しない運送） ※一定水準の保険加入等が必要。
交付の要件	・週1日、1日2便（1往復）以上の運行を行うこと。 ・地域における合意形成及び上越市ハイヤー協会との協議が完了していること。 ・バス運行不十分地域においては、1回の運行につき1人以上の利用があると認められること。
負担額	・運行に係る経費の10割など ※上限あり ※運行形態に応じて異なる。

(3) 実績

- ・令和2年度以降…特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部（中ノ俣）、特定非営利活動法人三和区振興会（三和区）
- ・令和5年10月から…NPO法人柿崎まちづくり振興会（柿崎区）

令和5年11月 日

中郷区地域協議会委員 各位

中郷区地域協議会会長 竹内 靖彦

令和5年度中郷区地域協議会委員の研修について（ご案内）

令和5年度研修について、下記のとおり実施しますので、ご参加いただきますようお願いいたします。

記

1. 日 時 令和5年12月9日（土） 16:00～17:30
2. 会 場 は一とぴあ中郷 研修室
3. 講 師 上越市総合政策部
上越市創造行政研究所副所長 内海 巖
4. 研修目的・内容 同研究所が昨年11月に開催したフォーラムの概要や現在の取組状況等についての話題提供を受け、中郷区地域協議会委員が今後目指すべき姿や考え方など、地域協議会の活動をより活発にするヒントを得るため
5. 日 程 16:00～17:00 講義
17:00～17:30 質疑応答

【問合せ先】

上越市 中郷区総合事務所

総務・地域振興グループ（担当：津島・桐山）

電話：0255-74-2411（内線：166・165）

FAX：0255-74-2567